

最終日

主と共に歩む新千年紀

東京教区新年礼拝

1月6日 顕現日 午後2時

聖アンデレ主教座聖堂

聖餐式

聖歌 古今聖歌集 第46番

WARDINGTON
Ralph Harrison, 1784

3388 (L.M)

ひのてる かぎりは 主のみくに となり しろし

めす みよは とこしえに さかえん

Jesus shall reign where'er the sun
Isar. Watts, 1716

- 1 日の てる かぎりは 主の みくに となり
しろしめす みせは とこしえに さかえん
- 2 おおみなに よりは ささぐる いのりは
たきもののごとく かおりてぞ のぼらん
- 3 もろびとは イエスに ほめうたを うたい
おさなごも ともに みなを 呼び たたえん
- 4 どりには ゆるされ まずしきは 富みて
めぐみの たまもの あまねくぞ くだらん
- 5 よろずの もの みな わが主を あがめて
みつかいの うたを よもに ひびかせよ

参入

一同立つ。

MATSUMOTO

主 イエス・キリストよ、おいでください

弟子たちのなかに立お、かつのみすをあらわさむに、

わたしたちのうちにもおのぞみください

ここで司祭は、次の祈りをする。

全能の神よすべての心は主に現れ、すべての望みは主に知られ、どのような秘密もみ前に隠れることはありません。どうか聖霊によってわたしたちの心を清め、まことに主を愛してみ名の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

MATSUMOTO

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン

キリステエ・レイソン キリステエ・レイソン

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン

特 禱

(司祭) (会衆) (司祭) MATSUMOTO



主は皆さんと ともに また、あなたとともに 祈りましょう

顕現日特禱

星の導きによって、独りのみ子を東の博士たちに現された神よどうか
すべての国人を導きいま信仰によってあなたを知り、後の世にはあな
たの栄光を親しく仰ぎ見させてください。

MATSUMOTO



主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み 言 葉

司祭 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 旧約聖書はイザヤ書 第60章1節から

1 起きよ、光を放て。

あなたを照らす光は昇り

主の栄光はあなたの上に輝く。

²見よ、闇は地を覆い

暗黒が国々を包んでいる。

しかし、あなたの上には主が輝き出で

主の栄光があなたの上に現れる。

³国々はあなたを照らす光に向かい

王たちは射出するその輝きに向かって歩む。

⁴目を上げて、見渡すがよい。

みな集い、あなたのもとに来る。

息子たちは遠くから

娘たちは抱かれて、進んで来る。

⁵そのとき、あなたは恐れつつも喜びに輝き

おののきつつも心は晴れやかになる。

海からの宝があなたに送られ

国々の富はあなたのもとに集まる。

⁶らくだの大群

メディアンとエファの若いらくだが

あなたのもとに押し寄せる。

シェバの人々は皆、黄金と乳香を携えて来る。

こうして、主の栄誉が宣べ伝えられる。

⁹それは島々がわたしに向けて送るもの

タルシシュの船を先頭に

金銀をもたせ、あなたの子らを遠くから運んで来る。

あなたの神、主の御名のため

あなたに輝きを与える

イスラエルの聖なる神のために。

朗読者 旧約聖書を終わります

使徒書

朗読者 使徒書はエフェソの信徒への手紙 第3章1節から

1 とういわけで、あなたがた異邦人のためにキリストイエスの囚人となっているわたしパウロは……。²あなたがたのために神がわたしに恵みをお与えになった次第について、あなたがたは聞いたにちがいない。³初めに手短かに書いたように、秘められた計画が啓示によってわたしに知らされました。⁴あなたがたは、それを読めば、キリストによって実現されるこの計画を、わたしがどのように理解しているかが分かると思います。⁵この計画は、キリスト以前の時代には人の子らに知らされていませんでしたが、今や「霊」によって、キリストの聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。⁶すなわち、異邦人が福音によってキリストイエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となるということです。⁷神は、その力を働かせてわたしに恵みを賜い、この福音に

仕える者としてくださいました。⁸この恵みは、聖なる者たちすべての中で最もつまらない者であるわたしに与えられました。わたしは、この恵みにより、キリストの計り知れない富について、異邦人に福音を告げ知らせており、⁹すべてのものをお造りになった神の内に世の初めから隠されていた秘められた計画が、どのように実現されるのかを、すべての人々に解き明かしています。¹⁰こうして、いろいろの働きをする神の知恵は、今や教会によって、天上の支配や権威に知らされるようになったのですが、¹¹これは、神がわたしたちの主キリスト・イエスによって実現された永遠の計画に沿ったものです。¹²わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。

朗読者 使徒書を終わります

聖歌 古今聖歌集増補版 第46番 (繰り返し歌う)

わがこころ たえよ主を
Bless the Lord, my soul, and bless God's ho - ly name.

いのちの主 せいなるみ名
Bless the Lord, my soul, who leads me in - to life.

福音書

一同立って福音書の方を向く。

(朗読者) (会衆) MATSUMOTO

主はみなさんと とも にまた、あなたと ともに

(朗読者) (会衆)

聖ルカによる福音書第5章1節以下に記された主イエス・キリストの福音。

主に 栄 光 主に 栄 光

¹イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、²言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」³これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。⁴王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。⁵彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。⁶『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」⁷そこで、ヘロデは占星術の学者

たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。⁸そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。⁹彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。¹⁰学者たちはその星を見て喜びにあふれた。¹¹家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。¹²ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分たちの国へ帰って行った。

(朗読者) (会衆) MATSUMOTO

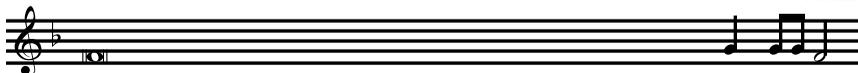
主 に 感 謝 主 に かんしゃ

説 教 教区主教

ニケヤ信経

主日とその他の祝日には、一同立って歌いまたは唱える。

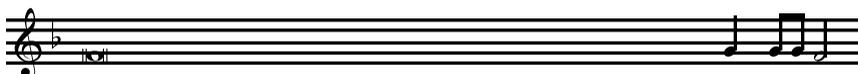
TAKEDA



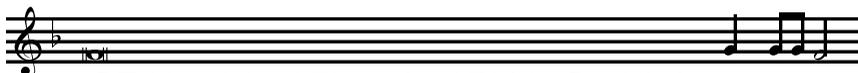
わたしたちは唯一の神、全能の父、天地とすべて見えるものと見えないもの造り主を信じます



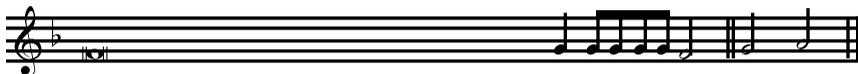
また、世々の先に父から生まれた独り子、主イエス・キリストを信じます



主は神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られず、生まれ、父と一体です。すべてのものは主によって造られました。主はわたしたち人類のため、またわたしたちを救うために天から降り、聖霊によっておとめマリヤから肉体を受け、人となり、ポンテオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、死んで葬られ、聖書にあるとおり三日目によみがえり、天に昇り、父の右に座しておられます。また、生きている人と死んだ人とを審くため、栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。
また、主なる聖霊を



聖霊は命の与え主、父と子から出られ、父と子とともに拝みあがめられ、預言者によって語られた主です。また、使徒たちからの唯一の聖なる公会を



罪の赦しのための唯一の洗礼を信認し、死者のよみがえりと来世の命を待ち望みます

アーメン

代 禱

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

先唱者の後、聖歌隊と会衆が応答部分「主よ、あわれみ」を歌います。この曲譜はアメリカ聖公会『聖歌集1982』の代禱の部分に基づいています。

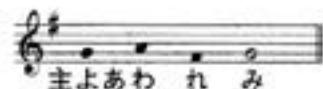
執事 神よ、主の公会 ことに を強めて、み子のみ業を行なわせてください。すべての聖職と信徒 ことこわしたちの主教ヨハネ を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光をこの世に現わす者とならせてください

会衆



執事 神よ、すべての国(ことに)の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆



執事 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人(ことに)に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛す

ることができるようにしてください

会衆



執事

神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと ことに 祈りを頼み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、主の救いの喜びに導いてください

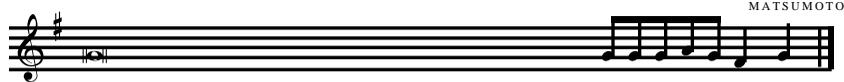
会衆



執事

神よ、世を去ったすべての人(ことに 祈りを頼み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください

一同



主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによって 祈りますアーメン

懺悔

執事または司祭 み心にかなう供え物をささげ、また自らをささげて、
主が定められたこの聖奠を行なうために、ともに罪をさんげ
しましょう

会衆はひざまづく

司祭 父と子と聖霊なる全能の神、および天の会衆と兄弟姉妹の
前に、わたしは、思いと、言葉と、行ないによって、多くの罪を
犯していることをさんげします。神よ、どうかわたしをあわれ
みゆるしてください。兄弟姉妹よ、わたしのために主なる神
に祈ってください

会衆 全能の神があなたをあわれみ、すべての罪をゆるしてくだ
さいますように

司祭 アーメン

会衆 父と子と聖霊なる全能の神、および天の会衆と師父の前
に、わたしたちは、思いと、言葉と、行ないによって、多くの
罪を犯していることをさんげします。神よ、どうかわたした
ちをあわれみゆるしてください。師父よ、わたしたちのため
に主なる神に祈ってください

次の言葉は、主教臨席のときには、主教が言う。

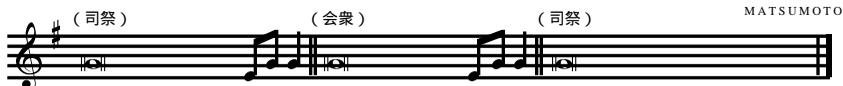
司祭 全能の神が皆さんをあわれみ、すべての罪をゆるし、恵みと力を与え、み心にかなう新しい生涯を送らせてくださいますように

会衆 **アーメン**

一同立つ

聖 餐

平和の挨拶



主の平和が皆さんと ともに また、あなたと ともに 平和の挨拶を交わしましょう

ここで互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わす。

奉 献

執事 み名にふさわしい栄光を主に歸し、供え物を献げましょう

司祭 全地はあなたを拝み、あなたをほめ歌い、み名をほめ歌うであらう。すべて神を畏れる者よ、来て聞きなさい。神がわたしのためになさったことを告げよう（詩66:3、15）

信施はここで集め、会衆の代表者は、パンとぶどう酒および信施を司祭に渡す。

聖歌 古今聖歌集 第218番

(編とるまうに) PANGE LINGUA
Serim Flanneg, Mode III

いざわがくちびる かたりつたえよー

さかえのみからだ めぐみのちしおー

たえなるおくぎを ほめよ たたえよ 7ー4ー

- 1 いざ わが くちびる かたり つたえよ
さかえの みからだ めぐみの ちしお
たえなる おくぎを ほめよ たたえよ
- 2 すぎこしの よいに しゆくしし みかて
おのが にくと 血を みでしに わかち
くすしき おくぎを さだめ たまいき
- 3 みかて くるもの 目には 見えねど
つつしき あおげば ころろは めざめ
たえなる おくぎを さとり しるなれ
- 4 かしこし みにえよ ひれふし おがむ
いにしえの のりは かげを ひそめて
とこしえの まと いま こに あり

司祭はこれを供えるとき、次の祈りを用いる。

司祭 全能の父なる神よこの「信施」供え物を受け、主のみ業の
ために用いてください

MATSUMOTO



すべてのものは主のたまもの。
わたしたちは主から受けて主にささげたのです アーメン

会衆はひざまづく。

感謝聖別(I)

MATSUMOTO



主は皆さんと ともに また、あなたと ともに
こころをかみに 主にこころをささげます
主なるかみに感謝しましょう
感謝と賛美はわたしたちのつとめです

司祭 聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いどこにおいてもみ

子イエス・キリストによって、主に感謝し、主を賛美するのは、正しく喜ばしいことです。

み子は、父の生きたみ言です。父はみ子によって永遠の初めから万物を造り、みかたちに似せてわたしたちを造られました。

父は、み子を人として生まれさせ、十字架の死と復活によって、わたしたちを罪の鎖から解放し、み子をご自身の右に挙げられました。

そして聖霊を送り、わたしたちを神の民としてみ前に立たせ、主の祭司として主とすべての人びとに仕えさせてくださいます

ことに、独りのみ子イエス・キリストは、わたしたちと同じ肉体を取って栄光を現されました。これは、すべての人を闇と惑いの中から導き、主のみ光に浴させてくださるためです。ゆえにわたしたちは、み使いとみ使いの頭および天の全会衆とともに、主の尊いみ名をあがめ、常に主をたたえて歌います

一同次の言葉を歌いまたは唱える。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
 万軍のかみ 主のえいごうは てんち - に満つ
 いとたかきところに ホサナ
 ほめたたえよ、主のみ名によって 来られるかたを
 いとたかきところに ホサナ

司祭 天の父よ救い主、み子イエス・キリストによってわたしたちの感謝・賛美をお受けください。わたしたちはみ子の模範にならない、そのみ定めに従ってこの聖奠を行います。どうかみ言葉と聖霊により、主の賜物であるこのパンとぶどう酒を祝し、聖として、わたしたちのためにみ子の尊い体と血にしてください。

主イエスは渡される夜、パンを取り、感謝してこれを裂き弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与えるわたしの体です。わたしを記念

するため、このように行いなさい」

また食事の後、杯を取り、感謝して彼らに与えて言われました。「皆この杯から飲みなさい。これは罪の赦しを得させるようにと、あなたがたおよび多くの人のために流すわたしの新しい契約の血です。飲むたびにわたしの記念としてこのように行いなさい」

MATSUMOTO

キリストは 死に キリストは よみがえり

キリストは ふたたび 来られます

司祭 天の父よわたしたちはこのパンとこの杯によって、み子がただ一たび献げられた十字架の犠牲を記念し、栄光ある復活、昇天を宣言し、み子が再び来られるまでこの祭を行います。

どうかこの感謝・賛美のいけにえを天の祭壇に至らせ、大祭司であるみ子によってお受けください。

み前でこの聖なる賜物にあずかる時、わたしたちを聖霊によって新たにし、主の愛によって生かし、み子イエス・キリストの体である教会のうちに結び合わせ、天の全会衆とともにみ名をあげさせてください



一同 わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めた
 思うところの一切を、はるかに越えてかなえてくださること
 ができる方に、教会により、またキリスト・イエスによって、



えいこうが世々にかぎりなくありますようにアーメン

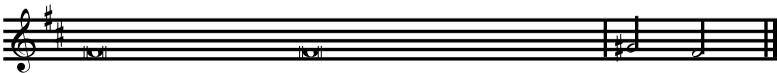
陪 餐

司祭は次の言葉を歌いまたは唱える。

TAKEDA



司祭 救い主キリストが教えられたように祈りましょう



一同 天にいますわたしたちの父よ、み名が聖とされます
 ように、み国が来ますように、み心が天に行われる
 とおり、地にも行われますように。日ごとの食物を
 今日も与えてください。わたしたちに対して罪のあ
 る者を赦していますから、わたしたちの罪も赦して
 ください。わたしたちを試みに陥らせずに、悪から
 救い出してください。

アーメン

司祭はパンを裂く。そのとき、次のように言う。

司祭 わたしたちがパンを裂くとき

会衆 キリストの体にあずかります(イコリント10:16)

司祭 パンが一つであるから

会衆 わたしたちは多くいても、一つの体です(イコリント10:17)

一同次の祈りを唱えてもよい。

憐れみ深い主よ、わたしたちは自分のいさおに頼らず、ただ主の憐れみを信じてみ机のもとに参りました。わたしたちは、み机から落ちるくずを拾うにも足りない者ですが、主はかわることなく常に養ってくださいます。恵み深い主よ、どうかわたしたちが、み子イエス・キリストの肉を食し、その血を飲み、罪あるわたしたちの体と魂が、キリストの尊い体と血によって清められ、わたしたちは常にキリストにおり、キリストは常にわたしたちにおられますように アーメン

続いて次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

MATSUMOTO



世のつみ-を のぞくかみの小ひつじよ、 あわれみをおあたえください



世のつみ-を のぞくかみの小ひつじよ、 主の平安をおあたえください

分餐者 あなたのために与えられた主イエス・キリストの体

会衆 **アーメン**

分餐者 あなたのために流された主イエス・キリストの血

会衆 **アーメン**

陪餐のときに、陪餐唱または成果を用いてもよい。当日の旧約聖書、使徒書、福音書の中の適当な言葉を陪餐唱として用いてもよい。聖品が尽きたときは、再度の感謝聖別の式文を用い、残ったときは、その場で慎んで飲食してしまう。

聖歌隊奉唱

F メンデルスゾーン「なんと美しいことか、知らせを伝える者は」

F. Mendelssohn: How lovely are the Messengers

J ブラームス「神聖な歌」

J. Brahms: Geistliches Lied

聖歌 古今聖歌集増補版 第25番

主はわがかいぬし

われはひつじ

みめぐみによりて

すべてたれり

- 1 主はわがかいぬし われはひつじ
みめぐみによりて すべて足れり
- 2 青草の原に われを伏させ
いこいの水辺に 伴いたもう
- 3 主はわがたましい 生きかえらせ
正しき道へと みちびきたもう
- 4 死のかげの谷を 行くときにも
わざわざ恐れじ 主ともにます
- 5 恵みにあふるる うたげひらき
油そそぎたもう わが頭に
- 6 命ある限り さちはつきず
主の家にわれは 永遠に住まわん

続いて司祭は言う。

司祭 祈りましょう

一同次の祈りを唱える。

永遠にいます全能の神よ、この聖莫にあずかった者を、み子イエス・キリストの尊い体と血をもって、養ってくださることを感謝します。主はこれによって、わたしたちがみ子の体のえだであり、み国の世継ぎであることをいよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、わたしたちはみ子によって、心も体も生きた供え物として献げます。どうか、聖霊によってわたしたちをこの世に遣わし、み旨を行う者とならせてください。栄光は世々に限りなく、父と子と聖霊にありますように **アーメン**

司祭(主教臨席のときは主教)は次の言葉を用いて会衆を祝福する。

神のみ子キリストが、み国の福音をもって、皆さんにますます喜びを満たしてくださいますように
父と子と聖霊なる全能の神の恵みが、常に皆さんとともにありますように **アーメン**

一同、立って次の唱和を用いる。

執事 ハレルヤ、主とともにいきましょう

会衆 ハレルヤ、主のみ名によって アーメン

聖歌 改訂古今聖歌集から

1 2 3 4
ハハハハ
レレレレ
ルルルル
ヤヤヤヤ
うほわ
たはが
えな主
よるの
よエく
ろルと
こサし
びレの
のムし
うにの
たはび

ハハハよ
レレレレ
ルルルが
ヤヤヤえ
みたつ
かたつ
みえし
ののみ
みうい
もたの
とごら
にえせ
ひつた
びねま
くにえ

たみつよ
たたき
えみせ
のらぬ
しとた
ららた
べわえ
はれの
絶なう
ゆげた
るくに
ことあ
ときわ
なにせ
しもて

式文用曲譜

松本正俊 曲

ニケア信経 主の祈り 武田喜久子 曲

代祷 アメリカ聖公会『ヒムナル1982』